

2022年3月29日

報道関係各位
プレスリリース

株式会社アイダ設計
株式会社ドリーム・アーツ



アイダ設計、SmartDB®で見積依頼の業務時間を1/3に短縮 ～全社DXに向けた現場主体の業務デジタル化～

株式会社アイダ設計（本社：埼玉県さいたま市、代表取締役社長：會田 貞光、以下 アイダ設計）と「デジタルの民主化」のリーディングカンパニー 株式会社ドリーム・アーツ（東京本社：東京都渋谷区、広島本社：広島県広島市、代表取締役社長：山本 孝昭、以下 ドリーム・アーツ）は、このたびアイダ設計が大企業向け業務デジタル化クラウド「SmartDB®(スマートデービー)」を採用したことを発表します。2021年11月から試験運用を開始し、2022年2月1日より本格利用を開始しています。

■顧客ニーズがコロナ禍で急増、デジタル活用・効率化が急務に

アイダ設計は、「人を育み、夢を叶え、心豊かに。」の企業理念のもと、注文住宅事業・分譲住宅事業をはじめとするハウスメーカー企業です。同社では、土地の仕入れから、設計、施工、完成後のアフターフォローまで住宅に関わる工程を一気通貫で手掛けています。近年ハウスメーカー業界では、ここ数年頻発している自然災害に対する安心・安全ニーズの高まりや、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴って求められる新しい生活様式など、多様化するお客さまのライフスタイルに合わせたサービス提供が必要とされています。

アイダ設計においては、これまでの分譲住宅の需要が高かった状況から、コロナ禍以降、注文住宅の需要が高騰していました。その結果、分譲住宅の案件受注に加えて注文住宅も受注するようになり業務量が急増。特に売上に直結し、関連書類が多く発生する「間取見積依頼」業務のデジタル化による改善・効率化が急務に。この業務は関連する各々の部署が業務に必要な情報を紙やExcelで独自に管理していたため、情報格差が生まれ、業務効率や情報共有に問題が生じていました。それ以外にも、過去情報の活用ができず不要な事務作業をおこなっている、案件管理が煩雑になっている、といった問題も併発していました。

■SmartDB®の選定理由

そうした状況のなか、アイダ設計では部門横断で同一の業務情報を共有できる環境づくりを目

指しシステムの導入検討を開始。下記のポイントを評価し SmartDB®の採用を決定しました。

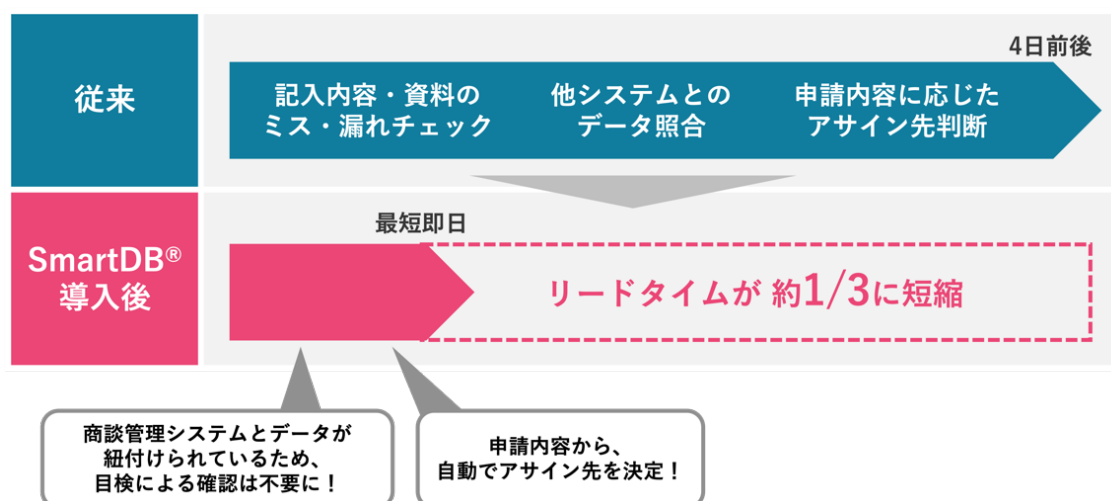
【SmartDB®採用のポイント】

- ・ 全社のデジタル化基盤にでき、現場主体でもノーコード・ローコードで開発できる
- ・ 高度な Web データベース機能で、各工程の進捗可視化・データの一元管理を実現できる
- ・ 業務アプリ同士のデータ参照や、入力情報のチェック機能で、
入力漏れ・入力ミス削減可能
- ・ SmartDB®を中心にシステム連携を活用したシステムの全体最適

■業務リードタイムが約 1/3 に、競争力につながる対応スピードが向上

非 IT 部門である設計部が中心となり業務アプリ開発をすすめ、わずか 1 ヶ月半で試験運用を開始。特に効果が現れたのは、店舗や営業本部から起案される申請に対して設計部でおこなう受付審査業務です。従来は Excel・紙で回付される申請帳票を目視確認しており、記入ミスや添付資料漏れのチェック、店舗担当者への差戻しなどもすべてアナログで実施していたため、次の工程に移るまでに 4 日前後のリードタイムを要していました。SmartDB®での業務運用開始後はすべての作業がデジタルに置き換わり、即日~1.5 日で完了するなど業務リードタイムが約 1/3 に短縮。「間取見積依頼」の対応スピードを向上することができ競争力につながっています。そのほか、受付審査の前後工程においても時間削減の効果が出ています。そして、以前は各部がバラバラに管理していた案件状況が共有化・可視化されることによって進捗確認の問い合わせが大幅に減少しています。

【イメージ：SmartDB®による業務改善効果】



■株式会社アイダ設計 常務執行役員 大槻 智輝 氏からのコメント

今回の SmartDB[®]導入は、アイダ設計が取り組むデジタルトランスフォーメーション (DX) の第一歩と捉えています。単にツールを導入するだけでなく、そこからどのように新しい価値や仕事の創出につなげていくかが重要です。日本全国にある拠点のプロジェクト管理やタスク管理、土地相場に関する推測分析などにおいてもデジタル活用を推進すべく、全社をあげて DX に取り組むことができる環境を整備していきます。その点でも、まずは間取見積り業務のデジタル化による効率化・改善を成功させることが重要でした。

今後、SmartDB[®]をアイダ設計の業務デジタル化基盤としてさらに活用していきます。そして、ドリーム・アーツには継続的にパートナーとして“協創”していただけることを期待しています。

アイダ設計とドリーム・アーツは、今後も“協創”を推進し「現場力強化」「企業競争力向上」の領域において、さらなるパートナーシップを育んでまいります。



SmartDB[®] (スマートデービー) について <https://hibiki.dreamarts.co.jp/smartdb/>

SmartDB[®]は、大企業市場シェア No.1^(※)の業務デジタル化クラウドです。現場個別の業務から全社横断業務までノーコード・ローコードで開発可能。ワークフローと Web データベースを中心に多彩な機能を持ち、柔軟な外部システム連携、きめ細やかな権限管理、高度なセキュリティ要件にも対応しています。三菱 UFJ 銀行や大和ハウス工業、立命館大学など、大企業を中心に 50 万名以上が利用中です。サービス基盤としてマイクロソフトが提供するクラウドプラットフォーム「Microsoft Azure」を採用し、利用規模の変化やコンテンツの増加にも柔軟に対応できる環境を実現しています。

※ テクノ・システム・リサーチ「2021 年 SaaS 型ワークフロー市場メーカーシェア (従業員数 1,000 名以上)」より

株式会社アイダ設計について <https://www.aidagroup.co.jp/>

アイダ設計は、分譲住宅及び注文住宅、施設・店舗などの木造建築の設計・施工・販売を事業として展開しております。1981 年の創業以来、長きにわたって家づくりに携わってきた当社は、「よりよい住宅をより安く」という企業理念のもと、土地の仕入れから測量・設計・施工・アフターサービスまで行う自社一貫体制のスケールメリットを活かしたコストダウンを追求してまいりました。これまで培ってきた技術や経験を活かし、価格にも品質にも満足できるようご提案しています。私たちは住空間を提供する企業として、木造建築や Z E H 住宅の促進、安定した品

質の供給と技術の継承、環境に負荷をかけない家づくりなどを通じて、地域社会とともに、持続可能な社会の実現に向けた活動を実践していきます。

株式会社ドリーム・アーツについて <https://www.dreamarts.co.jp/>

1996年12月に設立されたドリーム・アーツは「協創する喜びにあふれる人と組織と社会の発展に貢献する」をコーポレート・ミッションに、「情報共有」と「対話」を重視した独創的かつ高品質なソリューションとサービスを提供します。「協創力を究めよ」のスローガンのもと、ICTだけでも人間だけでもできないビジネス上の難題の解決をICTと「協創」でお手伝いしています。大企業向け業務デジタル化クラウド **SmartDB**®、多店舗オペレーション改革を支援する「**Shopらん**®（ショップラン）」、大企業の働き方を変えるビジネスコックピット「**InsuiteX**®（インスイートエックス）」などのクラウドサービスを開発・提供しています。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社アイダ設計

〒362-0048 埼玉県上尾市川 286

販売促進部販売企画課 hanbai-kikaku@aidagroup.co.jp

株式会社ドリーム・アーツ

〒150-6029 東京都渋谷区恵比寿 4-20-3 恵比寿ガーデンプレイスタワー29F

広報担当 佐藤

TEL : 03-5475-2502 / 080-7023-7602 E-mail : pr@dreamarts.co.jp

記載されている会社名および商品・サービス名は各社の登録商標または商標です。